

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年8月12日

上場会社名 株式会社エコノス 上場取引所 札
 コード番号 3136 URL https://www.eco-nos.com
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 勝也
 問合せ先責任者(役職名) 取締役副社長 (氏名) 新行内 宏之 (TEL) 011-875-1996
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,030	3.8	55	56.8	44	85.3	63	291.1
2022年3月期第1四半期	993	7.7	35	68.8	23	146.8	16	△71.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	47.96	47.79
2022年3月期第1四半期	12.56	12.49

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,657	560	21.1
2022年3月期	2,862	497	17.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 560百万円 2022年3月期 497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年3月期	-				
2023年3月期(予想)		0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,965	0.0	67	△11.0	46	△19.4	55	24.2	41.85
通期	3,917	△1.4	116	△26.1	70	△38.3	70	△33.8	53.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期1Q	1,318,748株	2022年3月期	1,314,428株
2023年3月期1Q	289株	2022年3月期	289株
2023年3月期1Q	1,314,920株	2022年3月期1Q	1,294,132株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和する中、社会経済や個人消費活動の正常化に向けた動きが見られましたが、一方で米国をはじめとする先進諸国の金利上昇による急速な円安の進行やロシアによるウクライナへの軍事侵攻等によりエネルギー価格をはじめとする物価の上昇が進んでいることや新型コロナウイルス感染症の再拡大も見られることから景気の先行きは不透明な状況であります。

このような経営環境の中で、当社においては前年度に引き続き趣味性の高い商品の販売が好調に推移したこと、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で減少していた衣料品等の売上が復調してきたこと、インターネット販売強化の継続等により売上高は好調に推移しました。さらに、コストコントロールの徹底にも努めたことにより、前事業年度を大きく上回る利益を確保することができました。

また、当第1四半期累計期間において関係会社株式の売却による特別利益36,122千円を計上しております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高1,030,641千円（前年同期比3.8%増）、営業利益55,060千円（前年同期比56.8%増）、経常利益44,281千円（前年同期比85.3%増）、四半期純利益63,061千円（前年同期比291.1%増）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

(リユース事業)

リユース事業におきましては、新型コロナウイルス感染症がもたらした巣ごもり消費の拡大による本など一部商品の販売増加については落ち着きをみせたものの、インターネットによる販売強化等もあり、オーディオ・楽器・ホビー関連などの趣味性が高い商品の販売が前年度に引き続き好調に推移したほか、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少していた衣料品等の売上についても回復してきたことで、既存店の売上高が前年同期比104.3%と好調に推移しました。また、リユース品の買取についても、店頭買取が好調であったことに加え、出張買取を強化したことなどもあり、前年同期比103.7%と好調に推移しました。なお、当事業年度より本格的に開始しました家財整理事業を本セグメントに含んでおります。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績につきましては、売上高1,029,693千円（前年同期比4.0%増）、セグメント利益は112,541千円（前年同期比8.7%増）となりました。

当第1四半期会計期間末現在におけるリユース事業の各業態別の店舗数は以下のとおりであります。

(単位：店)

	ブックオフ 事業部	ハードオフ事業部				ハードオフ 事業部計	合計
		ハードオフ	オフハウス	ホビーオフ	ガレージ オフ		
店舗数	17	15	17	16	1	49	66

(注) ブックオフ事業部の店舗数にはインターネット販売の1店舗を含みます。

(その他)

本セグメントは報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業とグリーン住宅ポイントの商品交換事業を含んでおりますが、グリーン住宅ポイントの商品交換事業については、商品交換申込の受付は2022年2月をもって終了し、商品交換についても2022年4月に完了しました。また前事業年度において本セグメントに含んでいたiPhoneの修理等を行うリペア事業については、2021年7月に終了しております。

以上により本セグメントの当第1四半期累計期間の業績は売上高948千円（前年同期比71.0%減）、セグメント利益は698千円（前年同期はセグメント損失666千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は、1,589,538千円となり、前事業年度末と比べて174,030千円の減少となりました。これは、主に現金及び預金の減少210,973千円及び商品の増加43,574千円によるものです。

また、当第1四半期会計期間末における固定資産は、1,068,017千円となり、前事業年度末と比べて30,691千円の減少となりました。これは、主に有形固定資産の減少14,735千円及び繰延税金資産の減少14,234千円によるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は、857,686千円となり、前事業年度末と比べて191,976千円の減少となりました。これは、主に短期借入金の減少100,000千円、賞与引当金の減少32,630千円及び未払法人税等の減少31,368千円によるものです。

また、当第1四半期会計期間末における固定負債は、1,238,983千円となり、前事業年度末と比べて75,949千円の減少となりました。これは、主に長期借入金の減少63,006千円によるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、560,886千円となり、前事業年度末と比べて63,203千円の増加となりました。これは、主に四半期純利益63,061千円の計上によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日付の「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	749,776	538,803
売掛金	112,414	114,482
商品	843,679	887,253
前払費用	50,331	47,360
その他	7,366	1,638
流動資産合計	1,763,568	1,589,538
固定資産		
有形固定資産		
リース資産	334,875	325,615
その他(純額)	352,626	347,150
有形固定資産合計	687,501	672,766
無形固定資産	1,380	1,380
投資その他の資産		
敷金	283,260	283,199
その他	126,567	110,671
投資その他の資産合計	409,827	393,871
固定資産合計	1,098,709	1,068,017
資産合計	2,862,278	2,657,556
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,037	7,111
短期借入金	450,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	276,669	267,211
リース債務	42,152	42,623
未払金	60,890	45,067
未払費用	72,895	70,718
未払法人税等	40,078	8,709
未払消費税等	37,610	39,842
契約負債	5,427	5,509
ポイント引当金	2,657	2,650
賞与引当金	42,219	9,589
その他	5,024	8,651
流動負債合計	1,049,663	857,686
固定負債		
長期借入金	641,163	578,156
リース債務	477,207	466,456
長期末払金	34,519	30,883
退職給付引当金	62,789	64,200
資産除去債務	96,702	96,869
その他	2,549	2,416
固定負債合計	1,314,932	1,238,983
負債合計	2,364,596	2,096,670

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	335,126	335,903
資本剰余金	283,453	284,230
利益剰余金	△129,084	△66,023
自己株式	△164	△164
株主資本合計	489,330	553,946
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,351	6,939
評価・換算差額等合計	8,351	6,939
純資産合計	497,682	560,886
負債純資産合計	2,862,278	2,657,556

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	993,203	1,030,641
売上原価	317,808	323,417
売上総利益	675,394	707,223
販売費及び一般管理費	640,269	652,163
営業利益	35,125	55,060
営業外収益		
受取配当金	443	218
受取手数料	2,026	1,620
その他	2,443	2,317
営業外収益合計	4,913	4,156
営業外費用		
支払利息	16,066	14,905
その他	76	30
営業外費用合計	16,143	14,935
経常利益	23,895	44,281
特別利益		
関係会社株式売却益	-	36,122
特別利益合計	-	36,122
特別損失		
投資有価証券評価損	2,801	-
特別損失合計	2,801	-
税引前四半期純利益	21,094	80,403
法人税、住民税及び事業税	2,886	2,491
法人税等調整額	2,082	14,851
法人税等合計	4,968	17,342
四半期純利益	16,125	63,061

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した、新型コロナウイルス感染症による当社事業への影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	リユース 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	989,936	989,936	3,267	993,203	-	993,203
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	989,936	989,936	3,267	993,203	-	993,203
セグメント利益 又は損失(△)	103,569	103,569	△666	102,903	△67,777	35,125

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及びリペア事業、2021年6月より開始したグリーン住宅ポイント商品交換事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△67,777千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに属しない管理部門に係る一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	リユース 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	1,029,693	1,029,693	948	1,030,641	-	1,030,641
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,029,693	1,029,693	948	1,030,641	-	1,030,641
セグメント利益	112,541	112,541	698	113,239	△58,178	55,060

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び2022年4月に終了したグリーン住宅ポイント商品交換事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△58,178千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに属しない管理部門に係る一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりです。

前第1四半期累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

事業区分別の内訳

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	リユース 事業	計		
ブックオフ	296,026	296,026	-	296,026
ハードオフ	196,275	196,275	-	196,275
オフハウス	287,417	287,417	-	287,417
ホビーオフ	160,315	160,315	-	160,315
ガレージオフ	8,659	8,659	-	8,659
ロジスティクス事業	19,528	19,528	-	19,528
3R事業	21,713	21,713	-	21,713
その他	-	-	2,378	2,378
顧客との契約から生じる収益	989,936	989,936	2,378	992,314
その他の収益	-	-	889	889
外部顧客への売上高	989,936	989,936	3,267	993,203

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及びリペア事業、2021年6月より開始したグリーン住宅ポイント商品交換事業を含んでおります。

当第1四半期累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

事業区分別の内訳

（単位：千円）

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	リユース 事業	計		
ブックオフ	287,339	287,339	-	287,339
ハードオフ	211,552	211,552	-	211,552
オフハウス	304,279	304,279	-	304,279
ホビーオフ	178,122	178,122	-	178,122
ガレージオフ	8,112	8,112	-	8,112
ロジスティクス事業	21,159	21,159	-	21,159
3R事業	19,126	19,126	-	19,126
その他	-	-	59	59
顧客との契約から生じる収益	1,029,693	1,029,693	59	1,029,752
その他の収益	-	-	889	889
外部顧客への売上高	1,029,693	1,029,693	948	1,030,641

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び2022年4月に終了したグリーン住宅ポイント商品交換事業を含んでおります。